

第3回 砧地区公共交通協議会 令和元年8月30日

昨年度までの検討状況①

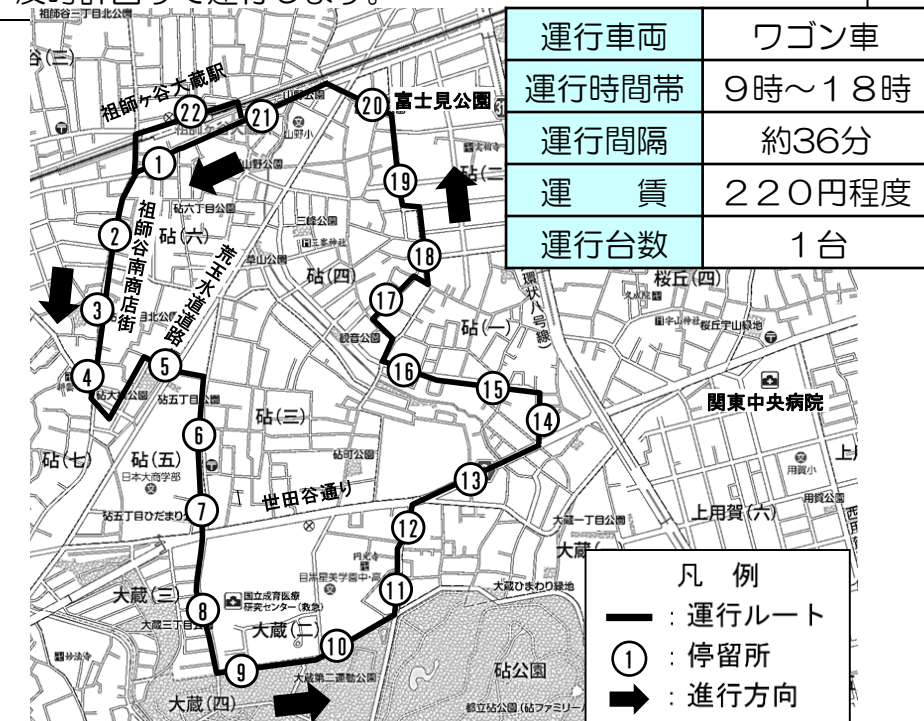
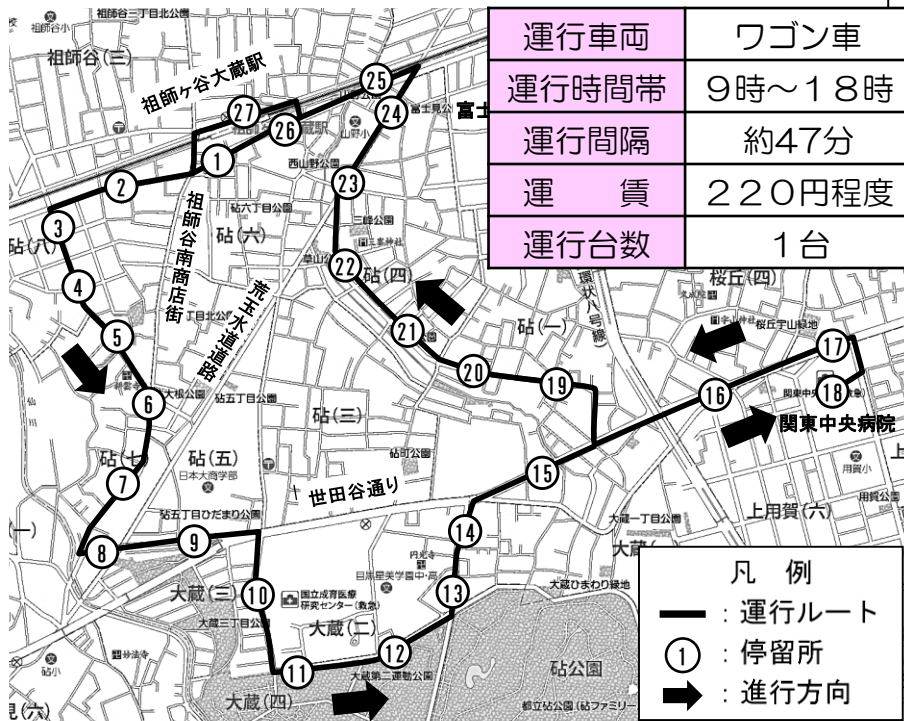
- 「公共交通不便地域対策に向けた勉強会」を計6回開催
- 「砧公共交通協議会」を計2回開催
- 「交通管理者協議（警察等）」を計8回開催
- 以下2ルートに対する「需要予測アンケート」の実施
- 運行ルート②で調整を進める旨の確認

関東中央病院にアクセスする運行ルート①(案)

- ・ 祖師ヶ谷大蔵駅を出発した後、大蔵団地、成育医療研究センター、関東中央病院を經由して祖師ヶ谷大蔵駅に戻ります。
- ・ 反時計回りで運行します。

関東中央病院にアクセスしない運行ルート②(案)

- ・ 祖師ヶ谷大蔵駅を出発した後、祖師ヶ谷南商店街、大蔵団地、成育医療研究センターを經由して祖師ヶ谷大蔵駅に戻ります。なお、関東中央病院にはアクセスしません。
- ・ 反時計回りで運行します。

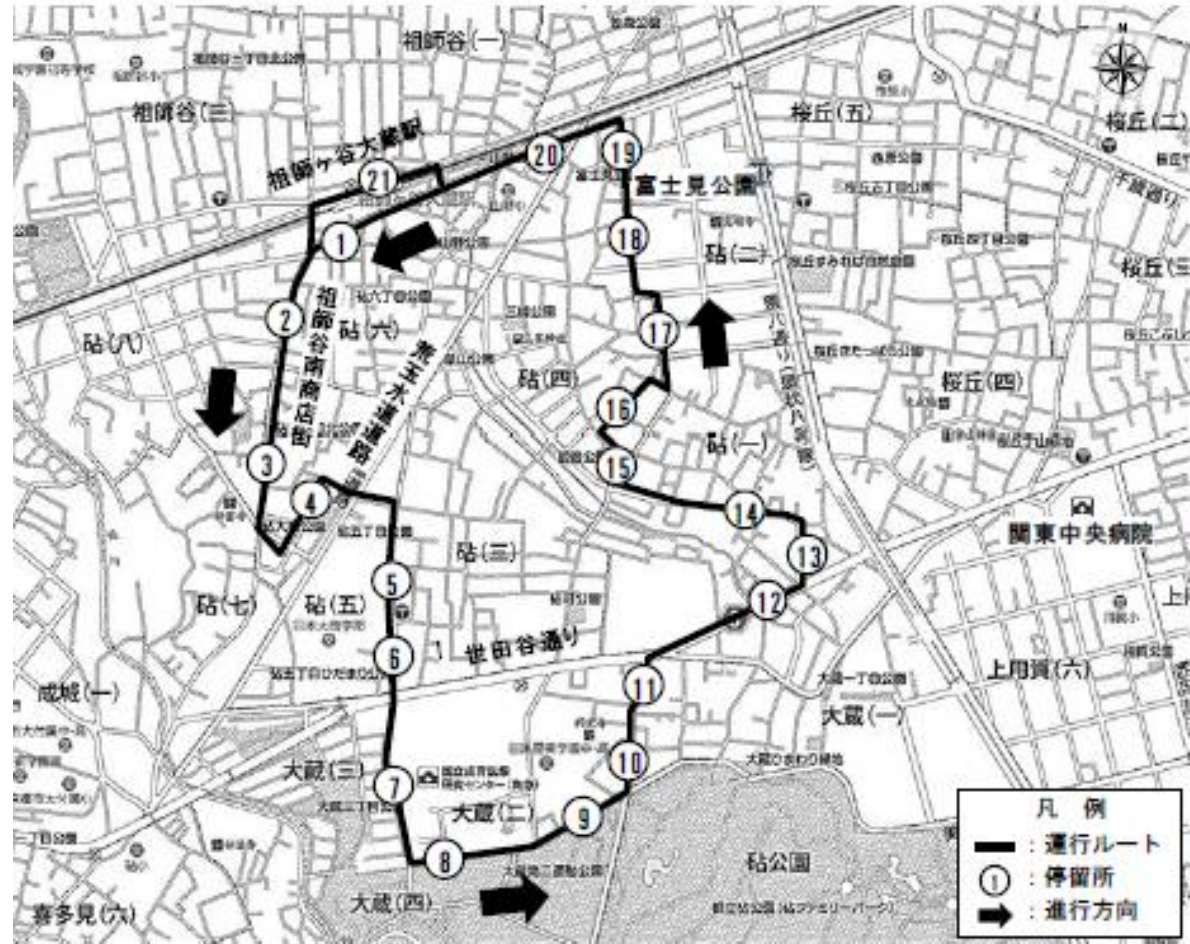


昨年度までの検討状況②

● 運行概要(案)

運行車両	ワゴン車 (10人乗り)
運行時間帯	9時台~17時台
運行間隔	約36分
運賃	220円程度

● 運行ルート(案)



※停留所候補地については、地先住民等との合意形成が必要

昨年度までの検討状況③

以下の課題解決を図るため2019年度からの
実証運行を延期

【課題①】 経費縮減や運賃外収入の確保等による
運行収支改善

【課題②】 運行ルート上の通学路の安全対策

課題への対応状況

課題①に対するこの間の対応状況

- 見積り精査等の経費削減の検討
- 運行日数や運行形態等の検討 ※別紙1参照
- サポーター候補企業への情報提供

課題②に対するこの間の 対応状況

- 交通管理者より指摘のあった運行ルート上の通学路について下校児童の通行量調査を実施。
- 安全対策案1～2を交通管理者に提案

●対策案1 (ハード面)

対象箇所	対策案	対策イメージ	対象箇所	対策イメージ	対策イメージ
通学路	①路面標示シートの設置		運行車両	⑤車両へのLED表示板の設置	<p>【表示例】</p> <p>乗降中</p> <p>通学路通行中</p>
	②通学路標識(電柱)の設置				
車両制限令抵触区間	③乗務員の運転マニュアルの作成	※対策案2参照	<h2>●対策案2 (ソフト面)</h2> <p>運行ルート上の具体的な注意箇所及びその通行方法や、車両すれ違い方法等を盛り込んだ運転マニュアルを作成し、安全運転を徹底する。</p>		
	④カーブミラーの設置				

新たに生じている課題

①昨今のバスによる事故等を踏まえた通学路に関する交通管理者からの指摘

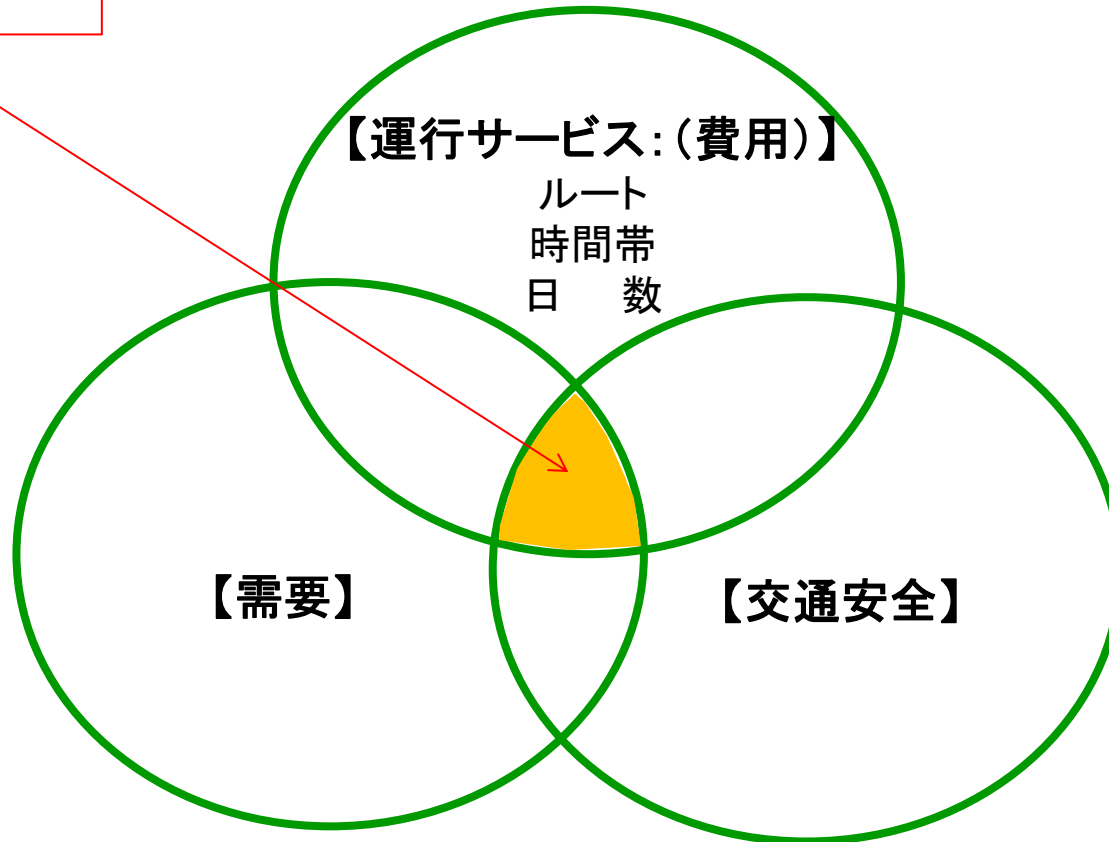
- ガードパイプ等で歩車分離されていない通学路は、通行児童数に関わらず、運行ルートとして適切ではない。
- 通学時間帯は運行時間からはずす、あるいは通学路以外の別ルートとすることが望ましい。
- 通学時間帯に運行するのであれば、P7の対策に加えて、ガードパイプの設置や地域住民による見守り等の対策が必要。

②持続性のある運行収支の確立

- 運転手の人件費向上等により、平日のみの運行とした場合でも年間500万円強の赤字欠損が生じる見込みである。

課題解決に向けて(検討ポイントイメージ)

持続性のある
コミュニティ交通



課題解決方法(案)

【交通安全(通学路)への対応方法(案)】

パターン	運行ルート	方法(案)
①	検討(案)の通り	通学路下校時間に地域の見守り活動を行う
②	検討(案)の通り	通学路下校時間帯は運行しない(14時30分以降)
③	新ルート(案)	通学路を通らない新ルート(案)で運行する
④	検討(案) + 新ルート(案)	通学路下校時間帯以降はもう1ルート(案)で運行する

【費用削減対応方法(案)】

パターン	運行ルート	方法(案)
⑤	検討(案)の通り	日数の削減(週5、4等)
⑥	検討(案)の通り	運行時間帯の削減
⑦	新ルート検討(案)	サポーター等を考慮した新ルート(案)で運行する
⑧	検討(案) + 新ルート(案)	日数、運行時間帯の削減及びサポーター等を考慮したもう1ルート(案)で運行する

マッチングが必要

